

## 河川整備計画（本文）

### 1.2 河川の現状と課題

#### 1.2.1 治水に関する現状と課題

（河川の現状）

圏域内には琵琶湖も含め一級河川が 51 河川存在します。この内、琵琶湖に直接流入する河川は 36 河川であり、瀬田川に流入する 6 河川を除き、残りの多くはこれらの支川となっています。

圏域内の河川は、背後に比良山地・比叡山地などの急峻な山地が位置することから、延長が短く、北部で約 10km 以下、南部でより短く 5km 以下となっています。

まのがわ 真野川は比叡山地に源を發し、南東部に流れ上流部で乗馬川、融川と合流し

その後、真野地区を東に流下し、湖西道路の交差後に世渡川と合流して、JR 湖西線を横断した後に琵琶湖に注ぐ流路延長 8.2km、流域面積 18.3km<sup>2</sup>の一級河川です。真野川は湖西道路から上流では概ね山付区間で掘込河道となっている一方、下流には築堤区間が見られ、一部天井川の様相を呈する区間もあります。

おおみやがわ ひえいざんえんりやくじよかわちゆうどう

大宮川は比叡山延暦寺横川中堂付近に源を發し、日吉大社境内を経て坂本地区を流下して、湖西道路、JR 湖西線、国道 161 号を横断後、琵琶湖に注ぐ、流路延長 4.8km、流域面積約 7.7km<sup>2</sup>の一級河川です。大宮川は湖西道路より上流では概ね掘込河道となっていますが、下流は天井川となっています。

## 出典・根拠



図 真野川 現況写真位置図



図 大宮川 現況写真位置図

## 河川整備計画（本文）

ふじのきがわ

藤ノ木川は比叡山に源を發し、山間部を流下し、狭小な平地部を流れ、京阪電鉄石山坂本線、湖西道路、JR湖西線を横断後に琵琶湖に注ぐ、流路延長2.4km、流域面積1.8km<sup>2</sup>の一級河川です。藤ノ木川は京阪電鉄石山坂本線付近から上流では概ね山付区間、掘込河道となっていますが、京阪電鉄石山坂本線付近から湖西道路付近までは天井川となっており、河床はコンクリートで覆われています。

つねよがわ

常世川は中央自動車道西宮線（名神高速道路）大津インターチェンジ付近に源を發し、市街地を流下し、国道1号、JR東海道本線、京阪電鉄石山坂本線を横断後に琵琶湖に注ぐ、流路延長1.0km、流域面積0.9km<sup>2</sup>の一級河川です。吾妻川は音羽山付近に源を發し、国道1号を横断後に蟹川と合流し、JR東海道本線（JR琵琶湖線）、京阪電鉄石山坂本線を横断後に琵琶湖に注ぐ、流路延長2.3km、流域面積1.6km<sup>2</sup>の一級河川です。常世川・吾妻川は、吾妻川の一部に天井川の区間がありますが、概ね全川にわたって掘込河道となっています。

## 出典・根拠



図 藤ノ木川 現況写真位置図



図 吾妻・常世川 現況写真位置図

## 河川整備計画（本文）

もろこがわ 諸子川（普通河川）、どうのかわ 堂の川（普通河川）、さがみがわ 相模川、しのつがわ 篠津川、ひょうだがわ 兵田川、もりこしかわ 盛越川、きつねがわ 狐川（普通河川）、さんたがわ 三田川の8河川（以下、相模川、盛越川など8河川）は音羽山おとわやまや千頭岳の山地に源を発し、中央自動車道西宮線（名神高速道路）を横断した後、大津市街地を流下して、国道1号、JR東海道新幹線、JR東海道本線（JR琵琶湖線）、京阪電鉄石山坂本線などの主要幹線道路や鉄道を横断して琵琶湖または瀬田川（淀川）へ注ぐ河川で、8河川の総流域面積は約15.2km<sup>2</sup>です。

## 出典・根拠



出典：淀川水系流域委員会 第1回琵琶湖部会 資料3 淀川水系の現状説明

河川整備計画（本文）

（過去の主要な洪水の概要）

圏域において過去に大きな被害を及ぼした主な洪水は、明治 29 年の豪雨、昭和 28 年の台風 13 号、昭和 34 年の伊勢湾台風などがあります。

主要河川では、昭和 40～50 年代に真野川と常世川で床下浸水被害が発生しました。真野川では、昭和 44 年に梅雨前線豪雨により、床下浸水 16 戸の被害が生じました。常世川では、昭和 43 年に 2 度の集中豪雨と台風 10 号によって、合わせて床下浸水 110 戸、半壊家屋 2 戸の被害が生じました。このとき、大津雨量観測所では時間雨量 46mm を記録しました。

また、近年では、平成 8 年と平成 9 年に大宮川と藤ノ木川で浸水被害が発生しました。平成 8 年の豪雨では、大宮川で床下浸水 5 戸、床上浸水 1 戸の被害が生じました。平成 9 年の豪雨および台風 11 号では、大宮川で床下浸水 102 戸、床上浸水 16 戸、藤ノ木川では、床下浸水 70 戸の被害が生じました。このとき、坂本雨量観測所では時間雨量 83mm を記録しました。

相模川、盛越川など 8 河川でも度々洪水が発生し、床下浸水や床上浸水の被害が生じています。

河川整備計画（本文）

志賀・大津圏域の主要水害一覧

年度	異常気象名	水害発生年月日	浸水原因	浸水被害（戸数）				浸水面積（㎡）			出典	
				床下	床上	半壊	全壊	合計	宅地	農地		合計
S41	台風第24号	9/18～9/23	洪水	10	0	0	0	10	0	0	0	水害統計
S44	梅雨前線豪雨	6/20～7/14	洪水	16	0	0	0	16	0	0	0	水害統計
S51	梅雨前線豪雨	6/9						6			150,000	出典不明

年度	異常気象名	水害発生年月日	浸水原因	浸水被害（戸数）				浸水面積（㎡）			出典	
				床下	床上	半壊	全壊	合計	宅地	農地		合計
H8	豪雨	8/26～8/29	無埋部浸水 有埋部溢水	5	1	0	0	6	160	0	160	水害統計
H9	豪雨及び 台風第11号	8/3～8/13	有埋部溢水	102	16	0	0	118	4,745	0	4,745	水害統計

年度	異常気象名	水害発生年月日	浸水原因	浸水被害（戸数）				浸水面積（㎡）			出典	
				床下	床上	半壊	全壊	合計	宅地	農地		合計
H6	その他の 異常気象		有埋部溢水	0	2	0	0	2	200	0	200	水害統計
H8	豪雨	8/26～8/29	有埋部溢水	1	1	0	0	2	40	0	40	水害統計
H9	豪雨及び 台風第11号	8/3～8/13	有埋部溢水	14	0	0	0	14	180	0	180	水害統計

年度	異常気象名	水害発生年月日	浸水原因	浸水被害（戸数）				浸水面積（㎡）			出典	
				床下	床上	半壊	全壊	合計	宅地	農地		合計
H9	豪雨及び 台風第11号	8/3～8/13	無埋部浸水 有埋部溢水	70	0	0	0	70	1,380	0	1,380	水害統計

年度	異常気象名	水害発生年月日	浸水原因	浸水被害（戸数）				浸水面積（㎡）			出典	
				床下	床上	半壊	全壊	合計	宅地	農地		合計
S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	50	0	0	0	50	15,000	0	15,000	水害統計
S43	集中豪雨	8/18	洪水	30	0	2	0	32	10,000	0	10,000	水害統計
S43	台風第10号	8/25～8/26	洪水	30	0	0	0	30	10,000	0	10,000	水害統計

河川名	年度	異常気象名	水害発生年月日	浸水原因	浸水被害（戸数）				浸水面積（㎡）			出典	
					床下	床上	半壊	全壊	合計	宅地	農地		合計
諸子川	S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	40	0	0	0	40	13,000	0	13,000	水害統計
鎌子川	S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	30	0	0	0	30	5,000	0	5,000	水害統計
篠津川	S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	50	0	0	0	50	10,000	0	10,000	水害統計
兵田川	S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	30	0	0	0	30	5,000	0	5,000	水害統計
盛越川	S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	30	0	0	0	30	10,000	0	10,000	水害統計
三田川	S43	集中豪雨	7/2～7/3	洪水	30	0	0	0	30	10,000	0	10,000	水害統計
兵田川	S43	台風第10号	8/25～8/26	洪水	50	0	0	0	50	10,000	0	10,000	水害統計
盛越川	S43	台風第10号	8/25～8/26	洪水	30	0	0	0	30	10,000	0	10,000	水害統計
諸子川 堂の川	S44	前線	8/1～8/2		(5)	(11)		(1)	(63)		(380,000)	琵琶湖河川事務所P	
三田川	S45	梅雨前線豪雨 及び 台風第2号	6/10～7/18	浸水	10	0	0	0	10	15,000	20,000	35,000	水害統計
相模川	S47	台風第20号	9/16～9/17		(89)				(89)		(380,000)	琵琶湖河川事務所P	
三田川	S57	豪雨、降雨、 風浪と 台風第10号	7/5～8/3		3	0	0	0	3	1,000	0	1,000	水害統計
三田川	S57	台風第10号	7/31～8/2		(17)	(253)			(423)		(180,000)	琵琶湖河川事務所P	
相模川 篠津川 盛越川 狐川	H1	秋雨前線	9/5～9/9		(180)	(165)			(345)		(150,000)	琵琶湖河川事務所P	

1 ( )書きは大津市全体の被害を表し、[]書きは、大津放水路流域内数量が判明しているものを計上